



広島中央トピックス

米価やコスト減 法人と意見交換

J Aは3月10日、広島中央地域管内の集落法人との意見交換会を東広島市で開きました。法人代表者32人とJ A役員30人が、米価や生産拡大、生産コスト低減へ向けての対策などで意見を交わしました。J A全農ひろしま米穀総合課の三好毅志課長が2025年産の生産動向などを説明。J Aは農産物の販売、担い手対策、肥料や農薬の価格対策、鳥獣被害防止支援事



▲あいさつをするJ Aの田中組合長

業、農業融資などを紹介しました。法人代表者からは、米の概算金の早めの提示や、営農指導の強化、米の耐暑性品種の導入などの要望がありました。

J A杯争奪 春季東広島少年ソフトボール選手権大会

J AとJ A共済連広島、東広島少年ソフトボール連盟は3月30日、福富多目的グラウンドでスポーツ少年団を対象にしたJ Aひろしま杯争奪「春季東広島少年ソフトボール選手権大会」を開きました。スポーツを通じて子どもたちの心と体の育成を図ります。大会には、地区外から招待された18チームを含む32チーム約500人が参加。龍王ソフトボールスポーツ少年団の坪島京太郎主将が選手宣誓をしました。AゾーンとBゾーン



▲選手宣誓をする坪島主将

に分かれ、予選リーグ戦を勝ち抜いた各ゾーン4チームが決勝トーナメントに進出。熱戦の末、Aゾーンは、瀬野ソフトボールクラブが、Bゾーンは川内ソフトボールクラブが優勝しました。

農業安全講習会 シバザクラの里乃美

豊栄町の農事組合法人シバザクラの里乃美は3月18日、同町で水稻の管理と農作業の安全に関する講習会を開きました。法人メンバー11人が参加。J A営農指導員が水稻栽培ごよみを使って適切な水管理などを説明し、良質米生産を呼び掛けました。安全講習会では、全農ひろしまの担当者が、農作業事故の実態と防止対策を説明。事故の原因や未然に事故を防ぐポイントなどを伝えました。また、クボタの担当者が機械を長く安全に使うためのセル



▲説明を聞く法人メンバー

フメンテランスも説明しました。法人の畝沖文雄組合長は「組合員が健康で安全に作業に取り組むことで、地域の農業を守っていきたい」と話しました。

全国自給飼料生産コンクール農水大臣賞 トムミルクファーム

豊栄町のトムミルクファームは、第11回全国自給飼料生産コンクールで最高位の農水大臣賞を受賞しました。3月26日には、J Aの佐伯専務と広島中央地域の渡邊統括長が、同社の沖正文代表取締役や従業員を祝福しました。同社は、雇用型の酪農経営で乳牛225頭を飼養しています。耕畜連携で稲発酵粗飼料(WCS)の生産・利用体系を築き、自社で農作業受委託組織を設けて粗飼料自給率80.5%を達成。6次産業化を進め消費者の理解醸成と地域の活性化



▲佐伯専務(左)に自給飼料を説明する沖代表

に取り組んでいます。沖代表は「集落法人や農家と一緒にになった取り組みが評価され、うれしい。地域を守るために役割を果たしていきたい」と話しました。



水 稲

水田雑草対策について

◆除草剤の散布

水稲管理で収穫量や品質に最も影響を与えるのは、雑草管理です。研究開発によって除草剤の効果は高まっていますが、いたるところで雑草が繁茂している圃場を見かけます。特にノビエは一度多発すると完全に駆除することが難しいです。

◆ノビエの多発田対策

昨年、ノビエが多発した田は相当な数の種が落ちていきます。除草剤の効果が高まっているからといっても、

死滅する確率が上がっているだけで個体数が多いと駆除しきれないのが現状です。

次のことを徹底しましょう。

①代かきは丁寧に行ない、漏水しないよう、また除草剤の処理層を形成するようにしてください。

②除草剤は初期除草剤(サキドリE WやテマカットFB等)と一発除草剤(カイリキZやゼータタイガー等)を体系的に使用するようにしてください。

③田の表面は凹凸を無くし、水を張った時に露出しないようにしてください。

④田植え後、除草剤を散布した後は5cm程度の深水を1週間程度保ち、処理層を形成させましょう。

⑤一発除草剤を散布した後でもノビエが残っているようなら「トドメMF」などの後期除草剤を散布しましょう。

バック剤やフロアブル剤は多少の播きムラになってもよく拡散するので効果は万遍になりますが、水深が浅く、地表が水面から出ていれば効果はないので事前の田ごしらえがポイントになります。

◆藻類の多発田対策

田植え後、アオミドロなどの藻類が多発して田全体が緑色になっているところもよく見かけます。これでは除草剤の効果が拡散しないばかりか、薬害や苗を押し倒し倒れ株になることがあるので次のような対策が必要です。

①初期除草剤や一発除草剤を、藻に効果がある「ジメタメトリン」を含む製剤「農将軍」や「セイテン」などに変更する。

②田植え後、除草剤散布前に「モゲトン」を散布する。

※【注意】「モゲトン」は藻に対して速攻性がありますが残効性は期待できません。光合成を抑制することで藻を枯死させますので、藻が活発に繁殖する前、具体的には晴天の朝に散布すると最も効果が高いです。

藻類の繁殖力は想像以上です。落水やかけ流しなど物理的な対策では追いつかないので、田をよく観察して早めに薬剤で対策することをおすすめします。

水稲栽培での初期除草管理は最も重要です。通常、初期除草剤の残効

期間は15〜25日程度、一発除草剤の残効期間は30〜50日程度です。そのことを考慮すれば、田植え後すぐに初期除草剤を散布、2週間から3週間後に一発除草剤を散布すれば、田植え後60日間(中干しまで)は除草剤の残効が続くこととなります。



野菜

5月に入っすっきり暖かくなり、本格的な農繁期を迎えました。今月号は営農相談をよく受ける事例についてQ&A方式で紹介します。

Q 8月にカキの落果が激しいですが、どうすればよいのでしょうか？

A カキノヘタムシガの被害だと思われま。幼虫の発生は6月と8月で、春に防除ができていないと8月に激発し、落果が激しくなります。5月下旬に「バダンSG水溶剤」などの薬剤を散布するようになしてください。

Q タマネギの収穫の目安はいつでしょうか？

A 冷涼な気候を好むタマネギは暖かくなると、球に養分を蓄積し休眠します。葉が根元から自然に倒れはじめ、約8割倒伏した頃が収穫の目安になります。タマネギは収穫直前まで球が肥大しますので慌てて収穫する必要はありません。天気を確認し、収穫後、畑

で2〜3日天日干しした後、吊るすなどして貯蔵すれば長く持ちます。

また、収穫前1週間を目安に「トップジンM水和剤」などを散布すればさらに長く楽しむことができます。

Q 畑に使う肥料は何か良いのでしょうか？

A 使用量さえ間違わなければ、ほとんどの肥料は使えます。ただし、水稻の省力型肥料は水に溶ける樹脂でコーティングしていますので、畑では使えません。

石灰資材は消石灰や苦土石灰、ミネラルGなどありますが、基準となる量は1a当たり年間20kg程度です。一般的に与えすぎる傾向があるので、JAが行なっている土壌診断サービスを利用してみるのも良いでしょう。

※土壌診断については、最寄りのアグリセンターにお問い合わせください。



Q ハクサイを植えたら根こぶ病が発生しましたが、どうすればよいのでしょうか？

A 根こぶ病はアブラナ科植物の致命的な病気の代表です。一度発生したら撲滅は難しいので、アブラナ科植物を栽培する時には「オラルク粉剤」や「フロンスサイド粉剤」を必ず定植前に土壌混和するようにしましょう。

また、同じアブラナ科植物でも「ダイコン」は根こぶ病にかかることはありません。

Q 梅の葉が春先から縮れたようになってるのは、何が原因でしょうか？

A 縮葉病の可能性が高いです。この病気は残念ながら生育期に効果がある薬剤はほとんどありません。梅が落葉し、休眠している12月に石灰硫黄合剤を散布するようになしてください。

石灰硫黄合剤は強いアルカリ性なので、金属に付着すると腐食しやすくなります。散布時には風向きに注意し、車などにかからないようにし、散布後は速やかに器具を洗浄するようになしてください。

また、皮膚に付着したり眼に入ったりすると大変危険です。取り扱いには十分に注意してください。

Q 野菜を定植した後、地際から切り倒されたようになっていました。何が原因でしょうか？

A ネキリムシによる食害です。ネキリムシとは「カブラヤガ」や「タマナヤガ」などの蛾の幼虫の総称で、畑を長く続けていると徐々に被害が広がってきます。日中は土中に潜り、夜間地上に現れて食害します。

薬剤では「ガードベイトA」が非常に高い効果を示します。この薬剤はネキリムシに対しては強い誘引効果があり、食べることで殺虫します。他の薬剤とは違って土に混和するのではなく、地表部にばら撒いておくだけで効果があります。

※【注意】農薬の使用前には必ずラベルを読み、使用基準を守るようになしてください。



農業法人で女性が活躍

三原市大和町 農事組合法人ユートピアかみなか

三原市大和

町の農事組合法人ユートピアか

みなかで、女性が活躍しています。作業に従事するメンバー23人のうち、女性は12人。水稲の作業やレンコンの出荷調整を担う他、大型特殊免許を2人が取得し、トラクターやコンバインなどのオペレーターも担っています。過疎化が進む中、男女を問わず農業に携わることで、地域の農業の維持発展に取り組みんでいます。



▲水稲育苗ハウスでの作業に集まった法人のメンバー

同法人は2003年に設立。現在、組合員は57人で、集積面積は35ha。水稲、大麦、レンコンを生産

しています。

理事の山口龍子さんが2006年、事務担当として法人に携わることとなり、女性参画が始まりました。家の農業で機械も操縦していた山口さんは、法人でも作業を担うようになりました。子育て時代に仲良くなった地元の人々を誘い、次第に女性が集まるようになりました。

山口さんが女性の仕事の段取りをし、理事の金近早苗さんがLINE(ライン)などを使って出勤できる人を取りまとめます。地元の法人とあつて、「融通が利き、無理なく柔軟な働き方ができる」とメンバーは言います。

2024年から生産する大麦は、中透光里さんが中心となって栽培しています。播種から管理、刈り取りまでの作業を担います。

レンコンのパッケージや出荷箱も女性メンバーがデザインしました。バイヤーと商談ができる見本市などにも参加して販売を強化。廃棄率の高い部位を活用したレンコンチップを考案して広島市のホテルで採用されました。

後継者不足が課題ですが、山口さんは「スマート農業なども取り入れ、無理なく続けられる農業で地域を守っていききたい」と展望します。

Information お知らせ

広島中央地域 アグリセンター 休日営業お知らせ

【5月】

土曜日・日曜日・祝祭日に休日営業を実施します。
営業時間は、午前8時30分～午後5時

【6・7月】

土曜日・日曜日・祝祭日は休業します。

肥料や農薬、生活資材をご自宅にお届けすることも可能です。お近くのアグリセンターにご相談ください。

東広島市
園芸センターより

園芸作物ほ場排水等改善支援事業のご紹介

園芸作物のほ場として適した水はけの良い土壌を形成するための資材購入及びその施工に必要な機器の賃借料を補助します。まずは園芸センターにご相談ください。

- 対象者：園芸農業者
- 補助率：補助対象経費の1/2
- 上限額：200万円
- 対象面積：5a以上

【活用事例】

- ・ハウスの周りに暗渠を設置し、碎石を埋める。
- ・ハウスの周りにU字溝を敷設して明渠を設置する。
- ・圃場に客土(真砂土)を投入し水はけを改善する。

※(注)市が補助金交付決定をする前に、事業着手(資材購入、発注などを含む)があった場合は補助対象になりません。

申込・問い合わせ

東広島市園芸センター Tel 082-433-4411

